県

加者魅

四

季通じ

魅

を

名月 浅所海岸照らす



平内町と青森大学、青い森鉄道が連携し、「若者ネットワークづくり」事業 の一環として企画した、初の「ひらないのお月見」が、中秋の名月の9月27日 タ、浅所海岸と旧浅所小学校で開かれました。

「浅所海岸をお月見の名所に」を合言葉に開かれたお月見には、町内や青森 市、東北町、弘前市、さらに岩手県などから40人ほどが参加し、台湾やモンゴ ルから青森大学に留学中の学生たちも駆けつけました。午後5時半すぎ、あか ね色の雲間から丸い月が顔を出すと、「ほぉー」という歓声が上がり、刻々と 暗さを増す夜空を昇っていくまばゆい月の姿に、参加者らはカメラやスマート フォンを構えながら見入っていました。



会場横の松島渡橋はミニ・ランタンでライト アップされて幻想的なムードに。お月見の様子は スタッフや参加者がネットで県内外に広く伝え、 タイムラプス(静止画から作成した動画)をツ イッターからアップする人も。ライトを使って 「夜空に文字を書く」レクリエーションも行われ、 会場は和やかな空気に包まれました。

お月見の後は旧浅所小学校に会場を移して青森 大学の清川繁人学長補佐が講話し「地元の魅力に もっと目を向けよう」と呼びかけました。催しの 様子は青森放送ニュースや青い森鉄道のブログで も報じられました。

- ●編集·発行
- 青森大学地域貢献センター ●連絡先
- 青森市幸畑2丁目3の1
- ●電話
- 017 (738) 2001



Facebook「青森のおへそから ~私の平内、あなたの平内」の ページと「お月見」イベントは こちら! (カラー版をネットで ご覧いただけます)





青森のおへそから

若者ネ 111 رما お 月見」



Ш

ഗ

演

平内町は陸奥湾に突き出た夏泊半島 をはじめ、ハクチョウで有名な浅所 海岸や町の南側に連なる山々など風 光明媚なスポットが点在し、四季を 通じて楽しむことができます。しか しながら観光やレジャー目的で町外 から訪れる人の数は決して多いとは いえず、観光シーズンも特定の時期 に限定されていました。

被写体を求めて町内を散策すると、 例えば夏泊半島周辺では、春先にな ると青森県内で最も早くカタクリや フクジュソウが咲き乱れ、春の訪れ

を実感できることでしょう。その後 5~6月には数百頭のイルカの群れ が回遊する姿に、子供も大人も歓声 を上げること間違いありません。夏 の海水浴に続いて秋のお月見や星空 観察、サイクリングなど、長いシー ズン観光的に魅力ある資源が眠って いるのです。

それらを発掘し、さらに受け入れ態 勢を整備することにより、町外から たくさんの人がやってくる可能性を 秘めています。

(青森大学学長補佐・清川繁人)

光で文字を描く留学生たち









<「光の文字」の書き方>

カメラを三脚に固定し、露出を 「マニュアル」モードにして、露出 時間を15秒、絞りを「11」、ISO 感度を「100」ぐらいに設定します。 ペンライトなどを用意し、シャッ ターを切った後で文字を書きます。 リハーサルを忘れずに…!



参加者の声

▼平内の豊かな自然の中でのお月見。想像以上に素晴 らしかったです。家族も大満足でした(青森市・男 性)▼お月見に良い場所は県内では太平洋側かと思っ ていましたが、陸奥湾から昇る月はとてもきれいでし た。まさにここはお月見の名所にふさわしいと思いま した。団子もあると良かったカモ(東北町・男性)▼ とてもすてきなロケーションの中で名月を見ることが できて有意義な時間でした。暗くなる前の昇りたての 月もいいと思います(弘前市・男性)▼海外で月見す ることは初めてです。台湾はこの活動もあるけれど、 本当にうれしいです(青森大学留学生)▼平内で月を 見ると、外の寒さを忘れるほど、とてもきれいでした (女性)

第

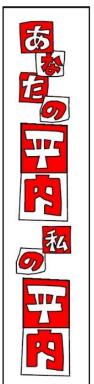
П

夏泊

盛

況

3 水 平線埋 で め る 漁 船 運 に 感銘





平内町で10月11日、サイクリン グやジョギング、ウオーキングで夏 泊半島を回る「第2回 夏泊半島ブ ルーロードライド」が開催された。 その様子を取材した。

県内外から総勢60人が参加し、夏 泊半島の景色を眺めながらゴールを 目指した。参加者には年配の方も多 く、サイクリングには小学生や女性 なども参加していた。

サイクリングのスタート地点は夜 越山、ジョギングのスタート地点は 浅所で、参加者は途中のエイドス テーションでの食事や景色を楽しみ ながらゴールの大島へと向かった。

1カ所目のエイドステーションでは 「久慈良餅」が約150食用意されて いた。2カ所目は100個以上のトマ



トが、3カ所目ではバナナとマスカッ トがふるまわれた。

青森市からサイクリングに参加し た江利山元気さん(35)はこのイベ ントについて「初心者でも皆とワイ ワイ楽しめる。大島でホタテを食べ るのが楽しみ」と語った。また、函 館市から参加した高橋俊介さん

(50) =写真左上=は久慈良餅を手 に「普段、車からでは見ることので きない町や自然の風景を楽しみなが ら楽しく走れることが、このイベン トの魅力だ」と強調した。

ゴールの大島では焼きホタテやバ ラ焼き、チヂミなどのテントが並び、 参加者を楽しませた。

(青森大学社会学部4年・斎藤健







青森大学生が見た平内

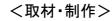


10月11日に第2回夏泊半島ブルーロードライドを取材に行った時、一面に広がる海とたくさんの漁 船が水平線に見えた二写真。青森市などでは見られない光景だ。平内町は海のすぐ横を道路が走る。 青森市にはあまりそのような道路がない。

サイクリングやジョギングの人たちから見て、右側には一面海が、左側には山があった。このよう にずっと、一度に山と海の景色を見られる場所は、県内でもそう多くはないのでは。ソーシャルメ ディアなどを使い、もっとPRすべきだと思う。

「ひらないのお月見」もきれいだったが、私は運動しながら自然を眺める方が良いかなと感じた。 参加者は高齢者も多い。そういえば、お月見の時も釣りをしている高齢者の方がいた。平内町民はア ウトドアが好きなのでは? みんなでワイワイ楽しく運動してみてもよいのでは。そう思った。

(青森大学社会学部4年・斎藤健太)



斎藤健太 • 阿部康平 • 杉 田拓哉•木村和也•坂本 風磨•堀内裕人(青森大 学・地域貢献プランニン グ履修者)





平内のソウルフード 手羽先から揚げ(肉の町田)

9月27日の「ひらないのお月見」当日、青森大学の学生3人が会場 に向かって、大学の先生の車に乗って移動していた。移動の途中、小腹 がすいたので何か食べるものはないかと探していたところ、あるお店が 目に入った。それが「肉の町田」だった。

ここ「肉の町田」では、普通のスーパーのように日用雑貨やお菓子な どが売られている。そして奥にはコロッケ、カツなどのおいしそうな惣 菜も並んでいる。その上でひときわ目を引くのが手羽先から揚げ。この 手羽先は、平内でも好んで食べられる、いわゆるソウルフードのような もので、多くの人に愛されているという。私も食べてみたが、大変に味 わい深く、おいしかった。 (青森大学社会学部2年•坂本風磨)

